

理事会議事録

横浜スキー協会														横ス協R1総013号					
会議名称	令和元年度 第7回			実施日時	令和2年 4月16日 木曜日 20:00~21:30														
会議会場	Zoomオンライン会議			記録係	総務部 西田					印		理事長			印				
出席者	会長	副会長	理事長	副理事長		理事							監事		凡 例				
	河邊	鈴木	坂田	小沼裕		西田	森山	五月女	小沼み	飯塚	島村		東島	小川	出席	遅参	早退	遅早退	欠席
	○	○	○	△		○	×	▽	△	○	×		○	○	○	△	▽	◇	×

＜決定事項＞

1. 5月末の行事事計監査は実施する
2. 各委員への立候補者、今後の日程変更はホームページなどでの情報公開を実施する
3. 会計処理は変更後の予定を踏まえて準備をすすめる

＜宿題事項＞

1. 競技部と教育部の会計費目を統一するための場を設ける

1. 河邊会長挨拶

雪不足に始まり、現在は新型コロナウイルスで大変な年度となった
 難しい環境ではあるが、理事会・評議員会等の計画は可能な限り進めていきたい
 皆様のご協力をお願いします

2. 本日の議題（坂田理事長）

2. 1 総務部

2. 1. 1 審議事項
なし

2. 1. 2 報告事項

2. 1. 2. 1 登録状況報告（全87クラブ）
 1クラブ団体未登録のため継続してフォロー中。
 SAJ未登録会員が15%程度いる。会員登録に関するフォローは大きな課題

2. 2 競技部

2. 2. 1 審議事項
なし

2. 2. 2 報告事項

2. 2. 2. 1 各行事の決算状況
 対予算で収支状況が確認できるものはあるか
 → 現時点では集計中。
 ポールトレーニングで予算比-13万程度、基礎で+10万程度
 その他行事を合わせて、総額-16.6万程度を見込んでいる
 → 会計担当理事からの指摘事項を確認してほしい。

2. 3 教育部

2. 3. 1 審議事項
なし

2. 3. 2 報告事項

2. 3. 2. 1 各行事の決算状況
 開催できた行事で、通算10万円程度の黒字となった
 各行事の詳細は記載の通り

2. 4 タスクフォース関連

2. 4. 1 審議事項

2. 4. 1. 1 県連評議員の選出に関して
 候補者に関して承認（事前にオンライン承認済み）

2. 4. 1. 2 県連役員選出に関して

- 3名の立候補者に関して承認（事前にオンライン承認済み）

2. 4. 2 報告事項

なし

2. 5 その他

2. 5. 1 会計処理状況について

- ・総務部 登録者が減少しており、それに比例して収支は変化している。
5月末までの登録者によって増減がありえる
- ・教育部 市民スキーマの収支は予定通り
- ・競技部 上記記載の通りで現在最終見直し中
ポールトレーニングの補助金は126,000で確定
体協補助金は4/27に振り込まれる予定なので、確定後決算書準備予定
- ・会計入力に関して、競技部と教育部の費目の統一が必要
→ 競技部内でも確認、指摘を行い資料は回覧している
→ 回覧しているだけだと進まない。期限と対応者を決めて進めてください

2. 5. 2 役員候補選出委員会、評議員会について

- ・役員、評議員会の時期に関しては当初予定と考えていが、時期の見直しも検討が必要
規約規定委員会に関しては役員選の状況を踏まえ、延期も視野に入れて再検討する
- ・各委員に立候補いただいた方は情報開示を行うべき。
→ ホームページでの公開を検討する
→ 委員会立候補者の募集不足とコロナ対策によるスケジュール変更と合わせて開示する
→ 公開文書は理事長作成の上、会長・副会長の確認を経てから開示すること
- ・評議員会は会計年度経過後、3ヶ月以内に開催と規定されているため8月までの開催が必要
規約を逸脱するのであれば、事前にクラブ評議員に採決を取る必要がある
→ 開催方法に関しては明記されていないため、各会議の開催方式、評決方式を
社会状況に合わせて検討する必要がある
状況によっては書面での採決や、オンラインでの採決も検討を行う

2. 5. 3 決算に関して

決算及び会計監査は予定通り進める必要がある

今後の予定

- 5/10 (日) 各行事会計締 → 決算書作成
- 5/22 (金) 各帳票を揃えて監事宛提出期限
- 5/30 (土) 午後 各行事、全体決算書の監査実施 (方式は別途検討)
- 6月上旬 会計事務所への資料提出

2. 5. 4 その他

- ・サイボウズの掲示板の使い方、確認と反応を徹底いただきたい

3. 閉会挨拶 (鈴木副会長)

このような状況になったことで、各議題の議論の進め方に工夫が必要となった
従来どおりの理事会開催ではなく、日程、頻度、時間、議題を工夫して進めていきましょう